アイバンクは目の見えない方のための角膜登録をいただく機関です。

# 30年のあゆみ

富山県アイバンク30周年記念誌



# **富山県アイバンク 30** 周年記念誌 **30** 年のあゆみ

〈30周年記念大会テーマ〉

見えた! あなたの明るい笑顔! 進めたい献眼運動!

### 大会プログラム

■ 日時 令和4年10月15日(土) ※開場13:30

■ 会場 ホテルグランテラス富山(4階瑞雲)

13:30 受 付 司会 松倉 美樹

14:00 開会宣言 大会実行委員長 磯野 敏雄

黙祷·献花

来賓ご紹介

大会テーマの発表 副大会長 伊勢 豊彦

大会長挨拶 富山県アイバンク理事長 大黒 幸雄

来賓祝辞 富山県知事 新田 八朗

富山市長 藤井 裕久

公益財団法人

富山県移植推進財団理事長 飯田 博行

祝電披露

厚生労働大臣感謝状伝達・授与 富山県知事 新田 八朗

アイバンク功労者感謝状・授与 富山県アイバンク理事長 大黒 幸雄

富山県アイバンク功労者感謝状授与 富山大学附属病院眼科教室教授 林 篤志

富山大学附属病院眼科教室診療講師 宮腰 晃央

富山大学附属病院眼科教室助教 大塚 光哉

富山県ライオンズクラブ

奉仕銀行常任委員長 窪田 一誠

受賞者代表挨拶 富山大学附属病院眼科教室診療講師 宮腰 晃央

遺族代表の言葉 遺族 松田 憲昌

15:30 閉会の辞 大会副実行委員長 木村 正明

(休憩)15分

15:45 開演の辞 式典·会場委員会委員長 門前 昌志

記念講演 演題 「アイバンク活動と日本人

なぜ提供が進まないのかへの一私見」

講師 医学博士 西田 輝夫氏

16:45 閉演の辞 副大会長 野村 謹吉

【主 催】 公益財団法人 富山県アイバンク

【共 催】 ライオンズクラブ国際協会334-D地区

【後 援】 富山県、富山市、日本アイバンク協会、富山県医師会、富山県眼科医会、富山県善意銀行、富山県社会福祉協議会、 日本赤十字社富山県支部、富山県看護協会、富山県介護福祉士会、北日本新聞社、富山新聞社、読売新聞北陸支社、 中日新聞社北陸本社、毎日新聞社富山支局、NHK富山放送局、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、 ケーブルテレビとやま、FMとやま、ラジオたかおか、富山シティエフエム

#### 厚生労働大臣感謝状受章者

令和3年9月から令和4年8月まで

献眼年月	献眼者ご芳名	地区
令和3年8月	武田 澄子 様	入善町
令和3年9月	匿名希望	富山市
令和3年9月	匿名希望	高岡市
令和3年9月	小西 洋子 様	富山市
令和3年9月	匿名希望	射水市
令和3年10月	豊本 睦雄 様	富山市
令和3年10月	吉崎 実様	魚津市
令和3年11月	匿名希望	南砺市
令和3年11月	白川 富子 様	岐阜県
令和3年12月	島田 興治 様	黒部市
令和4年2月	匿名希望	氷見市
令和4年2月	匿名希望	立山町
令和4年3月	眞田巳代子 様	立山町
令和4年4月	堀 節男 様	高岡市
令和4年4月	松田 昭吉 様	黒部市
令和4年4月	匿名希望	滑川市
令和4年5月	匿名希望	滑川市
令和4年6月	長谷川笑子 様	富山市
令和4年6月	内山 寿子 様	富山市
令和4年7月	高田 眞 様	富山市
令和4年7月	安達 弘章 様	舟橋村

#### 設立30周年記念講演

演題 「アイバンク活動と日本人 なぜ提供が進まないのかへの一私見」



講師 医学博士 西田 輝夫氏

プロフィール

昭和46年 大阪大学医学部卒業

昭和52年 米国留学

昭和56年 大阪大学医学部助手(眼科学)

昭和59年 近畿大学医学部講師(眼科学) 平成5年 山口大学医学部教授(眼科学)

平成20年 山口大学大学院医学系研究科長 平成21年 山口大学 副学長(平成25年まで)

平成24年 山口大学名誉教授

公益財団法人日本アイバンク協会常務理事 アイバンク協会認定サポーター制度委員長 名誉会員(日本眼科学会,日本角膜学会,日 本コンタクトレンズ学会,日本小児

眼科学会,日本結合組織学会 他)

医学博士(大阪大学)

#### 富山県アイバンクの概要

#### 【アイバンクの事業三原則】

- ●十分な提供者を確保する
- ●安全な角膜を提供する
- 公平・公正に提供する

現在の角膜移植医療においては、提供された角膜を用い て移植を行うことが唯一の方法です。

昭和33年に「角膜移植に関する法律」が施行されて以来、 岩手医科大学、慶応大学、順天堂大学に続き全国にアイバン クが設立されました。

富山県においては昭和38年10月10日 "眼の愛護デー"を 記念して富山県善意銀行内にはじめて眼球預託口座が設 けられました。

その後、角膜移植についての正しい知識の普及、眼球提 供者の登録、緊急に手術を必要とする患者に対する眼球の 斡旋の業務を行うため、富山県民の福祉の増進を図るため、 眼球斡旋機関として(財)富山県アイバンクが平成3年12月 に富山県から1,000万円、富山県内のライオンズクラブから 4,000万円、計5,000万円を基本財産として設立されました。

#### 富山県アイバンクの仕事

#### 【公益目的事業】

#### 眼球のあっせん等に関する事業

厚生労働省より「眼球提供あっせん業」の許可を頂き、角 膜疾患の方々が再び光を取り戻すことができるように、角膜 提供者を募集し、登録業務などを行うとともに、移植希望さ れている方々の登録、提供いただいた角膜の移植を希望 する方へのあっせん事業を行っています。

- (1) 献眼する者の募集及び登録に関する事業
- (2) 提供される眼球の摘出、検査、保存及びあっせんに 関する事業
- (3) 献眼及び角膜移植に関する知識の普及啓発事業

#### 眼の衛生に関する普及啓発事業

- (1) 広報誌の発行事業
- (2) 眼の衛生に関する啓発事業

#### 次

設立30	)周年記	記念大会大会プログラム
富山県	トアイノ	ヾンクの概要
ごあい	さつ	公益財団法人 富山県アイバンク 理事長/大黒 幸雄 (
祝	辞	富山県知事/新田 八朗
		富山市長 /藤井 裕久
		公益財団法人 日本アイバンク協会 理事長/澤 充 {
		ライオンズクラブ国際協会334-D地区ガバナー/戸祭 宏樹 (
		公益社団法人 富山県善意銀行 理事長/河合 隆 (
		公益社団法人 富山県医師会 会長/馬瀬 大助
		富山県眼科医会 会長/新田 正昭
		公益財団法人 富山県移植推進財団 理事長/飯田 博行 11
献眼者	f、開眼	者の皆さま
	献眼	皆ご芳名 ······· 14
	献眼	<b>皆ご遺族の手記 16</b>
	開眼す	<b>皆の手記</b>
富山県	トアイノ	ベンクの歩み
	1991	年~2017年
	2018	年~2022年
献眼へ	・のメ	ッセージ 29
「光」を	泳みか	ご短歌 ······ 32
資料	富山県	県の年度別·献眼登録者及び献眼者数の推移 34
	全国の	の年度別・献眼登録者及び献眼者数の推移 34
	全国	アイバンク一覧表 35
	公益則	オ団法人 富山県アイバンク設立30周年記念大会組織図 36
	賛助给	会費・ご寄附のお願い 37
編集後	記 …	38
~100	10	
	V se	



表紙写真: 朝日町チューリップと桜と白馬連峰

## 公益財団法人富山県アイバンク 設立30周年を迎えるにあたり



公益財団法人 富山県アイバンク 理事長 大黒 幸雄

本日ここに、富山県知事新田八朗様、富山市長藤井裕久様を始め、ご来賓の 出席を賜るとともに、ご献眼を頂いたご遺族の方々、そして、我々のアイバンクに 対して、常日頃より献眼推進活動に尽力を頂いているライオンズクラブ各位の参 加を賜り、設立30周年記念大会を開催することが出来ましたことに、心より感謝 申し上げます。

当アイバンクは、平成3年に富山県の承認を頂き、平成4年に厚生省(現厚生 労働省)の認可がおり、正式に発足現在に至っています。

今から233年前フランスで、水晶・鼈甲・猫・犬等からの移植を試みましたが、全てが失敗に終わり、人から人への移植しか出来ない旨が世界の眼科医会に報告されました。

その後、1905年に日本の水尾源太郎博士が、1926年に越智貞見博士が生体からの移植実験に成功したことは、日本が世界に誇る一大成果でした。

これにより世界の角膜移植は大きく前進し、世界的な活動となりました。

時を同じくして、1925年6月20日米国オハイオ州シダーポイントで開催された第 6回ライオンズクラブ国際大会において、ヘレン・ケラー女史が特別講演をされ、 「暗闇と闘う盲人のための騎士になってくだい」と訴えたことから、視力保護福祉 を世界的に展開することになり、私たちはその精神に立ち向かう努力をいたして おります。

この30年の間、富山県においては、21,004人の方から献眼登録を頂き、献眼者は561人となり、961人の方々が希望の光を取り戻され、社会復帰へのお手伝いをすることが出来ました。

またこの間、富山県のご指導により、総合病院等での臓器移植院内コーディネーターが組織され、これまで以上にご献眼を頂けるようになっています。

結びに、先人の努力を今に生かし、関係機関のご指導の下、事業をより強固なものとするとともに、皆様への奉仕活動を約束し挨拶といたします。

## 公益財団法人富山県アイバンク 設立30周年記念誌に寄せて



<sup>富山県知事</sup> 新田 八朗

このたび、公益財団法人富山県アイバンクが設立30周年を迎えられましたことを心からお祝い申しあげます。

貴財団には、平成3年12月の設立以来、会員相互の固い結束のもと、献眼登録の普及啓発、角膜移植者の募集登録、医療機関との連携など幅広い活動を通して、地域保健医療の充実向上に多大なご貢献をいただいています。

ここに、大黒幸雄理事長をはじめ、歴代役員並びに会員の皆様の長年にわたるご努力に対し、心から敬意を表し、感謝申しあげます。

また、これまでの皆様の献身的なご活動の結果、献眼により900人を超える皆様が喜びの灯を取り戻されています。献眼をされた皆様と、悲しみを乗り越えてご理解、ご協力をいただいたご遺族の皆様に対し、深く敬意を表します。

さて、平成22年7月に「臓器の移植に関する法律」が改正され、親族に対し臓器を優先的に提供する意思を書面により表示できるようになり、さらに本人の臓器提供の意思が不明な場合にも、家族の承諾があれば臓器提供が可能になりました。また、近年、臓器提供意思表示カードに加え、運転免許証やマイナンバーカード等に臓器移植に関する意思の記入欄が設けられるなど、臓器移植を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうしたなか、県では、病院内で移植の調整役を務める「臓器移植院内コーディネーター」の委嘱や連絡会の開催により、その活動を促進するとともに、関係各病院にポスター、リーフレットを配布するなど、アイバンク事業等への活動支援や県民への普及啓発に積極的に取り組んでいるところです。

貴財団には、このたびの設立30周年を契機として、角膜移植を望まれる方が 一人でも多く移植を受けられ、視力が回復するよう、今後とも献眼事業の普及啓 発と登録の推進に、一層のご尽力をいただきますようお願い申しあげます。

また、この記念誌の発刊により、献眼していただいた皆様の崇高なご遺志が 末永く受け継がれ、献眼の輪がさらに大きく広がることを願っています。

結びに、公益財団法人富山県アイバンクの限りないご発展と会員の皆様のご 健勝、ご活躍、ご多幸を心からお祈り申しあげます。

#### 公益財団法人富山県アイバンク 設立30周年を祝して



富山市長 藤井 裕久

このたび、公益財団法人富山県アイバンクが設立30 周年を迎えられ、ここに記念誌発行の運びとなりましたことに、心からお祝い申し上げます。

貴財団におかれましては、角膜移植についての正し い知識の普及、眼球提供者の登録、眼球の斡旋など、 地域住民の福祉の向上に大きく貢献してこられました。

これまで、角膜移植により多くの方々が光を取り戻されており、今後も角膜移植をはじめとする移植医療の更なる発展が期待されております。

これも偏に、歴代役員や関係の皆様の長年にわたる 献身的なご尽力の賜物であり、不断のご努力に対し、敬 意と感謝の意を表します。

また、崇高な志により献眼をされました方々に、衷心より哀悼の意を表しますとともに、献眼へのご理解とご協力をいただきましたご遺族の皆様に深く敬意を表する次第です。

本市としましても、他都市に先駆けて緑内障検診を実施し、疾病の早期発見、早期治療に努めており、市民一人ひとりが主体的に生活習慣の改善や健康の保持増進に取り組むことで生活の質の向上が図られる、健康づくりと融合したまちづくりに取り組む所存です。

貴財団におかれましては、この記念すべき節目の年を 新たな飛躍の契機とされ、今後とも角膜移植の普及啓 発に一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、公益財団法人富山県アイバンクのますます のご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまし て、お祝いの言葉といたします。

#### 公益財団法人富山県アイバンク 設立30周年祝辞



公益財団法人 日本アイバンク協会 理事長

澤充

この度は公益財団法人富山県アイバンク(富山県アイバンク)設立30周年について公益財団法人日本アイバンク協会を代表して心からお祝いを申し上げさせていただきます。

富山県アイバンクは長年、献眼者およびそのご家族の方々の篤志に寄り添い、そして角膜病変を主体とする角膜移植を必要とされる方々の視力回復に多大な貢献をされてこられました。その活動は県外にもおよび、特に2017年11月から運用されている全国のアイバンクを対象とした角膜広域あっせんおよび緊急角膜要請システムへとつながり現在に至っており、このシステムの中で富山県アイバンクは重要な役割を担っていただいており感謝申し上げます。

富山県アイバンクの大黒理事長におかれましては日本アイバンク協会の理事をご担当いただき、各地のアイバンクサポーター講習会、アイバンクジャーナルの編集にご尽力を賜りましたことに深甚なる敬意を表させていただきます。

末筆になりましたが、今後とも富山県アイバンクが献眼 活動および視力障害者の視力の回復に益々ご貢献賜り ますことを祈念申し上げ、祝辞とさせていただきます。

#### 祝辞



ライオンズクラブ国際協会 334-D地区 ガバナー

#### 戸祭 宏樹

この度、公益財団法人富山県アイバンクが設立30周年を迎えられ、盛大に記念式典が開催されますことに、富山県・石川県・福井県をエリアとする334-D地区のライオンズクラブを代表いたしまして心からお祝いを申し上げます。

1925年米国オハイオ州シダーポイントで開催されたライオンズクラブ国際大会で、講演をしたヘレン・ケラー女史が、ライオンズに対し「盲人のために暗闇と戦う騎士」となるよう呼びかけました。

それ以来、私たちライオンズクラブの活動に、失明予防を目的とした視力プログラムが含まれるようになり、視力ファーストを通じて世界中で視力回復と失明予防に努めています。

富山県においては1991年12月に富山県から1,000万円、富山県内のライオンズクラブから4,000万円の計5,000万円の出資金を基本財産として「財団法人富山県アイバンク」が設立されました。

以来30年間、アイバンク事業三原則のもと数々の活動をされ、2022年8月1日現在で献眼登録者累計21,004人、献眼者数は561人となり、961人の方々が希望の光を取り戻すことができました。

これもひとえに富山県アイバンクの皆様の努力の賜物と小より敬意を表するとともに深謝いたします。

貴財団におかれましては、30周年を契機に県民の皆様にアイバンク事業についてより一層の理解を頂き、更に献眼活動が充実・発展されますことをご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

#### つながる助け合いの思い



公益社団法人 富山県善意銀行 理事長

#### 河合 降

この度、公益財団法人富山県アイバンクが設立30周 年を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。

昭和44年会報「とやま善銀」に角膜移植を受けた会 社員のM氏の投稿が掲載されています。

『小学校からのヘルペス性角膜炎で失明、日赤眼科 部長と県善銀が八方手を尽くして下さり4月10日I様の 角膜移植を受けました。(略)庭の緑がなんと綺麗なこと よ!あれから半年経ちますが、毎日勤務が楽しいです』

それ以降、毎年4月10日、M氏は善意銀行を訪ねて 社会福祉のために活用して下さいと寄付金を持参され ます。その時にいつも「昭和44年のこの日に光の贈り物 をいただき、今も何不自由なく暮らしていける幸せを感じ ています」と語って行かれます。自分が受けた温かい思 いやりを世の中の困っている方へ届けたいという助け合 いの思いにつなげています。

社会やライフスタイルの変化によって人とのつながりが希薄になり、他者への思いやりが薄くなったといわれます。このような時代にこそ、人々の善意に支えられたアイバンクや善意銀行の活動が充実していくことが求められています。共に手を取り合い、笑顔いっぱいの社会の実現のため歩んで参りたいと願い、お祝いの言葉といたします。

#### 法人設立30周年を祝う



公益社団法人 富山県医師会 会長 馬瀬 大助

このたび、公益財団法人富山県アイバンクが法人設立30周年を迎え記念誌を発刊されるにあたり、富山県 医師会を代表して一言お祝いの言葉を申し上げます。

富山県アイバンクにおかれましては、角膜移植の普及 啓発活動をはじめ、献眼者の登録や角膜の公正・公平 な斡旋など地域医療の発展と県民の健康福祉の向上 に大きく貢献されてきたところです。

昨今ではiPS細胞から作製した角膜上皮を移植する 世界初の臨床研究が完了し、既存療法における問題点、 特にドナー不足や拒絶反応などの課題を克服し、角膜 疾患のため失明状態にある多くの患者さんの視力回復 に貢献できるとのことで、期待できる光が見えてきている のではないかと思います。

今、医療を取り巻く環境の変化はますます激しくなっておりますが、私共医師会は、よりよい医療を提供することを使命と考え、富山県アイバンクの皆様とともに、献眼登録推進普及運動を強く進めていきたいと思っております。

最後に、富山県アイバンクにおかれましては、この記念すべき節目の年を新たな飛躍の契機とされますとともに、献眼という尊い意思決定をされました方々のご冥福をお祈りいたしまして、設立30周年のお祝いの言葉といたします。

#### 法人設立30周年記念に寄せて



富山県眼科医会 会長 新田 正昭

このたび、富山県アイバンクが法人設立30周年を迎えられるにあたり、富山県眼科医会を代表して心よりお祝い申し上げます。

富山県アイバンクは、関係諸団体のご支援、富山大学眼科を中心とした眼科医療関係者の献身的な協力と眼球あっせんに関する事業や啓発事業へのコーディネーターの地道な活動に支えられ、着実に歩みを積み重ねて来られました。30周年を迎えるにあたり改めて、関係各位に敬意を表します。

昨今、医療機器の急激な進歩、新しい薬剤の開発や 眼科健診の充実により疾患の早期発見、早期治療が可 能になり視力予後もずいぶん改善されてきています。そ んな中、角膜疾患に対しても多岐にわたる移植方法が 確立されてはいますが、角膜混濁による社会的失明か ら視力を取り戻すには、一人でも多くの方の善意の献眼 が必要となります。

目の健康は健康寿命の延伸にもつながります。令和2年度は41名の角膜移植、67名の強膜移植が行われています。アイバンクの活動が健康寿命の延伸にも大いに貢献されていることは言うまでもありません。しかし依然として献眼数が待機患者数に比べて少ないという現状があります。眼科医会としましても、一人でも多くの人が視力回復と健康寿命の延伸を得られますよう、啓発活動に協力していく所存です。

最後に、富山県アイバンクの今後ますますのご発展を 祈念し設立30周年のお祝いの言葉といたします。

# 富山県アイバンク 設立30周年をお祝いして



公益財団法人 富山県移植推進財団 理事長 飯田 博行

公益財団法人富山県アイバンクが設立30周年を迎えられ、盛大に記念大会を開催され、記念誌が刊行されますこと、心からお祝い申し上げます。

貴財団は、平成3年12月富山県、富山県内のライオンズクラブのご支援のもと設立されました。今日まで30年間、献眼登録者の募集事業、眼球のあっせん事業、普及啓発事業を積極的に展開してこられました。富山大学医学部眼科学教室のご協力のもと角膜移植を推進し、設立以来これまでの献眼者560名余り、角膜移植960名余りを数え、大きな成果を挙げられました。多くの患者さんに文字通り光明を提供することができ、素晴らしい医療貢献をされました。これも偏に、歴代の役員、コーディネーターや関係の皆様方の長年にわたる献身的なご尽力によるものと、敬意を表します。

私共の公益財団法人富山県移植推進財団は、移植 医療全般の普及啓発活動と臓器移植支援事業を行っ ていますが、設立当初から富山県アイバンクのご協力と ご支援を受けて活動をして参りました。今後も院内コー ディネーター連絡会の開催、病院開発などの普及啓発 活動での連携をよろしくお願いいたします。

結びに、富山県アイバンクのますますのご発展、役員、 会員ならびに職員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念い たしまして、設立30周年記念のお祝いのご挨拶とさせて いただきます。

誠におめでとうございます。

## 献眼者、開眼者の皆さま

このたび、公益財団法人富山県アイバンク設立30周年記念にあたり、

献眼をいただきました崇高なお心に感謝し、 またご家族と関係者の方々の深いご理解とご協力に感謝し、 ご芳名をご記帳させていただきました。

おかげさまでこの30年間、

961人の方々が角膜移植手術を受けて光を取り戻し、

社会復帰をされておられます。

ありがとうございました。

ここに謹んで故人のご冥福をお祈りいたします。

※ 角膜移植を受けられた方々の人数は、令和4年7月末までの数です。



## 献眼者ご芳名

#### 平成29年9月から令和4年7月まで

献眼年月	献眼者名	地区
平成29年9月	椎名 正保様	上市町
平成29年9月	野澤やよえ様	入善町
平成29年9月	須田庸二郎様	高岡市
平成29年10月	棚田 正行様	氷見市
平成29年10月	西田 敏夫様	富山市
平成29年10月	匿名希望	富山市
平成29年11月	匿名希望	高岡市
平成29年11月	毛利 勇様	富山市
平成29年11月	佐竹 勝也様	砺波市
平成29年11月	匿名希望	富山市
平成29年12月	匿名希望	入善町
平成29年12月	匿名希望	富山市
平成29年12月	匿名希望	黒部市
平成29年12月	匿名希望	射水市
平成29年12月	匿名希望	富山市
平成30年1月	岩城 俊平様	富山市
平成30年1月	筏井 シヅ様	高岡市
平成30年2月	匿名希望	富山市
平成30年2月	匿名希望	富山市
平成30年3月	匿名希望	高岡市
平成30年3月	大場 陸子様	射水市
平成30年3月	匿名希望	高岡市
平成30年3月	匿名希望	砺波市
平成30年4月	匿名希望	富山市
平成30年4月	匿名希望	高岡市
平成30年4月	匿名希望	富山市
平成30年4月	岩口 伸様	射水市
平成30年4月	匿名希望	富山市
平成30年5月	瀧川 博一様	富山市
平成30年7月	匿名希望	高岡市
平成30年8月	青山 昇様	富山市
平成30年8月	匿名希望	立山町
平成30年9月	匿名希望	富山市
平成30年9月	岡本 武勇様	富山市

献眼年月	献眼者名	地区
平成30年10月	匿名希望	射水市
平成30年11月	匿名希望	滑川市
平成30年11月	二上 桂介様	高岡市
平成30年11月	松原 弘志様	富山市
平成30年11月	匿名希望	立山町
平成30年11月	富山 瞳様	魚津市
平成30年11月	白石 靖子様	射水市
平成30年12月	匿名希望	高岡市
平成30年12月	匿名希望	富山市
平成30年12月	篠崎美津子様	富山市
平成31年1月	匿名希望	富山市
平成31年1月	田島 澄子様	富山市
平成31年1月	匿名希望	富山市
平成31年1月	匿名希望	高岡市
平成31年2月	堀 源郎様	立山町
平成31年2月	金田 礼子様	高岡市
平成31年3月	匿名希望	富山市
平成31年4月	池田 英彰様	射水市
平成31年4月	匿名希望	高岡市
平成31年4月	土肥 静夫様	富山市
平成31年4月	浦 昭夫様	富山市
平成31年4月	匿名希望	富山市
平成31年4月	舟子眞知子様	黒部市
令和1年5月	井加田信一様	高岡市
令和1年5月	寺澤 和則様	富山市
令和1年6月	京井 一夫様	富山市
令和1年6月	髙山 玉枝様	黒部市
令和1年6月	匿名希望	魚津市
令和1年7月	匿名希望	氷見市
令和1年8月	匿名希望	魚津市
令和1年10月	寺垣 定則様	富山市
令和1年11月	匿名希望	富山市
令和1年11月	匿名希望	富山市
令和1年11月	匿名希望	射水市

献眼年月	献眼者名	地区
令和1年12月	富山 剛様	魚津市
令和1年12月	匿名希望	高岡市
令和1年12月	匿名希望	入善町
<b>令和1年12月</b>	匿名希望	富山市
令和2年1月	匿名希望	富山市
令和2年1月	花田 典信様	富山市
令和2年2月	武田 豊子様	砺波市
令和2年2月	匿名希望	滑川市
令和2年2月	匿名希望	富山市
令和2年3月	匿名希望	南砺市
令和2年3月	匿名希望	富山市
令和2年3月	辻井 良雄様	高岡市
令和2年3月	長田 善政様	氷見市
令和2年4月	高畠 一昭様	立山町
令和2年4月	匿名希望	富山市
令和2年4月	匿名希望	射水市
令和2年5月	匿名希望	富山市
令和2年6月	匿名希望	富山市
令和2年7月	砂田 勝行様	富山市
令和2年7月	匿名希望	砺波市
令和2年8月	三箇美那子様	射水市
令和2年9月	道林フミ子様	上市町
令和2年9月	匿名希望	富山市
令和2年11月	砂田恵美子様	富山市
令和2年11月	匿名希望	射水市
令和2年12月	匿名希望	舟橋村
令和2年12月	吉崎 昭博様	富山市
令和2年12月	匿名希望	富山市
令和2年12月	匿名希望	魚津市
令和3年1月	匿名希望	富山市
令和3年2月	篠原 浩二様	富山市
令和3年2月	山森千代乃様	富山市
令和3年3月	古川 克己様	富山市
令和3年3月	匿名希望	富山市

献眼年月	献眼者名	地区
令和3年4月 ————————————————————————————————————	匿名希望	氷見市
令和3年4月	匿名希望	富山市
令和3年4月	匿名希望	富山市
令和3年4月	匿名希望	滑川市
令和3年5月	匿名希望	富山市
令和3年5月	岡本とみ子様	富山市
令和3年6月	匿名希望	富山市
令和3年6月	匿名希望	富山市
令和3年7月	鈴木 睦子様	魚津市
令和3年7月	庄司 タミ様	富山市
令和3年8月	武田 澄子様	入善町
令和3年9月	匿名希望	富山市
令和3年9月	匿名希望	高岡市
令和3年9月	小西 洋子様	富山市
令和3年9月	匿名希望	射水市
令和3年10月	豊本 睦雄様	富山市
令和3年10月	吉崎 実様	魚津市
令和 3 年11月	匿名希望	南砺市
令和 3 年11月	白川 富子様	岐阜県
令和 3 年12月	島田 興治様	黒部市
令和4年2月	匿名希望	氷見市
令和4年2月	匿名希望	立山町
令和4年3月	眞田巳代子様	立山町
令和4年4月	堀 節男様	高岡市
令和4年4月	松田 昭吉様	黒部市
令和4年4月	匿名希望	滑川市
令和4年5月	匿名希望	滑川市
令和4年6月	長谷川笑子様	富山市
令和4年6月	内山 寿子様	富山市
令和4年7月	高田 眞様	富山市
令和4年7月	安達 弘章様	舟橋村

<sup>※</sup>平成29年8月以前の献眼者の方々のご芳名は、富山県アイバンク10周年・15周年・20周年・25周年の各記念誌に掲載してあります。

## 献眼者ご遺族の手記

当アイバンクには、献眼者のご遺族から本当に 感動的なお手紙をいただいております。

是非数多くの方々に読んでいただきたいとの思いから、 それを定期的に発行している「富山県アイバンクだより」に 載せさせていただいております。

今回は特別によせられた手記、「富山県アイバンクだより」から 再掲させていただきました。

何卒、ご一読いただきますようお願い申し上げます。

#### 父の献眼 松田 憲昌

唐突ですが、父は本年4月下旬にこの世を去りまし た。95歳の誕生日を迎えて1週間余りのことでした。こ の度は7年前に亡くなった母の時と同じように献眼をさ せて頂きました。

巷では「お眼めが無いと三途の河が渡れない」など と仰る方もおられますが、人生最後のご奉仕とも言え る"献眼"という誠に崇高な行為は、当然ながらいつで も出来ることではありません。この世に別れを告げて半 日つまり12時間以内なら献眼が可能であり、さらに環 境が整えば24時間以内でも可能とのことであります。

一般的に身内が亡くなってバタバタしている内に時 間が過ぎてしまい、そうだ献眼のことをすっかり忘れて いたというケースが少なからずあると思います。

しかし、あらためて考えてみて下さい。この世の中に は祈る思いで、光を取り戻すチャンスを待ち望んでお られる方々が沢山おられるということを。

献眼をすることで、そういった方々へ自らの角膜を提 供するという、人生最後の掛け替えのないご奉仕が出 来なくなるという、こんなもったいないことはありません。

角膜は、160年~180年間、その機能を保つと言われ ており、献眼に際し年齢制限は無いに等しいと言えます。

正直なところ父は自分の仕事に全精力を注いで参 りましたが、業界のお世話や地元への貢献には無頓 着な方でもありましたので、是非献眼だけはさせたい と思っておりました。

今回のことにより光を取り戻した方々には、きっと明 るい未来が待っていることでしょう。あらためて人生の 終わりに父がこの世に掛け替えのないご奉仕ができ たことを振り返りつつ一言…。

「親っさん!おっかさんと夫婦そろって献眼できて良 かったね。二人を誇りに思うよ 息子より。





2006年79歳

#### 父からあたえられた最後の責任

平成4年1月5日、85歳で他界した祖父が献眼登録 をしていた事を私が知ったのは、祖父が亡くなった当 日、病院に集まった親族に対して今は亡き父からその 事を告げられた時の事でした。

突然聞かされた事でビックリしましたが、亡くなった 後も困っている人の為にお役に立ちたいと考えていた のだなと強く感じましたし、逆に今後自分もそのような 事ができるのかなと自問自答した事を覚えています。

そして昨年、令和2年12月20日、93歳で亡くなった 父も祖父同様に献眼登録をしており、献眼をさせて頂

父は祖父が亡くなった10年後に登録をしていたよう で、私がそれを知ったのは5年程前の事でした。普段 は口数の少ない父に呼ばれ、「私も祖父同様に献眼 登録してあるから、何かあった時はすぐにアイバンクに 連絡をしてくれ」とアイバンクカードを託されました。

その時、父の意思を叶える責任とその重さを感じました。

#### 前原 英石

今回、その責任を果たせた事は私にとって祖父、父 と2代に亘って引き継がれた社会に対する貢献であり、 私も引き継ぐべき事ではないかと考えるようになりました。

父が亡くなった時はコロナ禍であり、もし父が新型コロ ナウイルスに感染していれば献眼は叶わないと言われま した。大変不安になりましたが、検査の結果大丈夫で あったと聞いた時は本当にホッと胸をなでおろしました。

父の願いを叶える事ができ、私が父から与えられた 最後の責任を果たす事ができたと安堵しました。

最後に献眼後、無事に移植されたとの報告を頂き、 その報告を子供や孫に伝えると、口を揃えて「お役に 立てて良かったね」と言ってくれます。父も喜んでくれ ていると思いますし、自身も自分の事のようにうれしく思 います。

報告を伝える事によって子供や孫も献眼に対して の理解を深めてくれているものと感じます。

(アイバンクだより第27号)

#### どこかで見守ってくれていると…

主人と縁あって2005年2月に中国から日本にお嫁 にやってきました。2007年8月に娘が生まれ、子育てを しながら、野菜を作り始め、珍しい野菜、西洋野菜、山 菜、カラフル大根などを作っては、農協や地場もん屋、 黒崎屋などに出荷しています。

主人は10年ほど前から肺の病気になり大学病院で 治療をしていました。亡くなる3ケ月前には癌がみつか りました。娘を育てながら野菜を作り、それに主人の看



2017.6.3 in 加賀フルーツランド

#### 青山麗子

病を一生懸命がんばって生きてきました。

でも、主人との別れの日がきました。

主治医の先生から「献眼」の話がありました。コー ディネーターから説明を受けましたが、悩みました。で も、娘の一言で提供を決心しました。

まだ、小学生の娘を残して旅立った主人はきっと心 残りであったと思います。でも、献眼によってどこかで 娘と私を見守ってくれていると思うと元気がでます。

娘との二人の生活が始まり約1年が経ちましたが、 今も主人がそばにいると思いながら野菜作りをがん ばっています。

夢は自分で作った野菜で餃子屋を作ることです。



(アイバンクだより第25号)

書去ゃん 畑の野並

#### 一燈から万燈へ 筏井 晴夫

母は本年1月にくも膜下出血で100歳を目前に卒然 と旅だった。

その日はデイサービスから帰宅したあと、家族と会 話後自室で休んでいた。夕食の声を掛けると返事が 無く、見に行くと様子がおかしく、看護師をしている娘 が「すぐ救急車を呼んだ方が良い」と手配してくれた。

病院には狭心症と腹部動脈瘤の持病があることと、 本人を含めて家族全員が延命措置を望まないことが 合意形成されている旨をつげた。母は夫を難病で長



期療養のすえ亡くしており、その時病理解剖に同意し、 また自分も献体登録し「しらゆり会」総会にも2~3回 出席していた。

ずいぶん前に富山大学から献体の意思再確認書 類が届いた際に「長いこと待ったけどあの世からお呼 びがかからないし、こんな婆さんじゃ役にも立たないだ ろう」と言って献体を辞退する返事をだした。

今回、母との別れに直面し一時は献体に同意して いた経緯もあり、家族の心の負担の軽い献眼をするこ とにし、院内コーディネーターを通じてアイバンクに連 絡してもらい手続きを進めた。後日角膜は綺麗で2人 の方に移植され再び光を取りもどされたとの連絡を受 けた。

母の献眼が一燈となり、県内に献眼の万燈がともれ ば遺族として望外の喜びである。

(アイバンクだより第24号)



#### お父さんありがどう 福田 靖子

本人、孝義さんは50代から独学で竹細工を始め、 父さんありがとう、良かったネ! |と手を合わせました。 図書館で本を借りたり、旅行で見掛けた作品を写真 に撮ったりして研究を重ね、定年後本格的に取り組み、がとう|と感謝し、その方も同じく、星空、月を見ておら 花入れや壁飾りオブジェなど創作の幅を広げ、平成 23年1月に「夫婦展 |を地元公民館で開きました。また、 人でも、この世に役にたつ事を。| 家の近くにある密蔵寺の鐘つき堂へ毎日朝6時に 「ゴーン」「ゴーン」とならし、雨の日も雪の日も10年余り、 ラブ会員の多くの方々に、大へんお世話になり心より 毎日続けました。口かずも少なく温厚で、しんの強い性 格であったと思います。私も大門ライオンズクラブのお 世話をさせていただき、ライオンズの偉大な奉仕活動 に感銘し、私達夫婦も昭和58年10月に献眼登録を富 山県アイバンクの方へさせていただいておりました。今 回家族の同意もあり、すぐに確認し病院にて提供、 「水疱性角膜症 |という角膜内に水分が溜まりむくん でしまう病気の男性の方に無事に角膜移植手術が執 り行われ経過も良好との事、本当に涙があふれて、「お

夜、晴れてすみきった夜空を見上げ「お父さんあり れる事を願っております。まず「勇気を持って実行し一

結びになりましたが、富山県アイバンク、ライオンズク お礼申し上げます。

(アイバンクだより第23号)





夫婦展(平成23年1月)

### 開眼者の手記

目に障がいがあるために、一生を暗やみの中で、 過ごさなければならない方々が、 日本全体で、富山市の人口ほどおられます。 そのうち数万人の方々が、角膜移植によって 再び視力を回復することができます。 これまでに角膜移植を希望され、待機されていた方々に 移植が行われて開眼者となり、

その喜びの声が富山県アイバンクに寄せられています。 今回10人の方々の喜びの文章を 載せさせていただきましたので、 是非お読みください。

#### 屏

#### び孫の顔が見れる喜び 50歳代女性

左角膜をご提供下さったドナー様、理解あるご 家族の皆様、あたたかな光をあたえてくださり心 より感謝いたします。ありがとうございました。

5年におよぶ長い年月をどの様なお気持でいらした事か私の浅はかさを悔いています。一言のお礼も伝えずにいた事を悔いています。

今でも目を開けた瞬間をはっきり覚えています。 赤、青、黄色、さまざまな色がこんなにきれいなん だと日の光がこんなに明るいのだと。左の角膜 手術において先生も驚く早さで回復に向かいメ ガネ、コンタクト等が必要ない程です。これも、や さしさにあふれた皆様のお心です。これからは、 故人様と私、二人で共に四季を感じ、風を感じ、 笑い、時には涙し、精一杯生きようと思います。 孫達は、ばぁばの目が直って良かったね。ばぁば の事大好きだから、ばぁばにおめめをくれた人も 大好きだよって言ってくれます。私も今できる事 で少しでも人様のお力になれる事があればお手 伝いさせていただきたいと思っています。ありが とうございました。心からありがとうございました。 故人様のご冥福をお祈りいたします。いっしょに 日本海の海を見に行ってきます。

(アイバンクだより第24号)

## 視

#### 力回復に感謝を込めて 女性

角膜の病気で移植しか治療の道がないといわれ、うすれゆく視力と痛みに不安な日々をすごしていました。思いがけず手術の機会に恵まれ術後のトラブルもなく、痛みもとれ、数ヶ月後には視力も回復していく見込みです。今、あらためて献眼して下さったお方に感謝してもしきれぬ思いと、それをお許し下さった御家族の皆様のお気持ちを思うとき、この感謝の気持ちをどうお伝えすればよいのかわかりません。ほんとうにありがとうございました。頂いた尊いお気持ちを大切に、少しでも人のお役にたてるよう生きてまいります。ありがとうございました。

(アイバンクだより第24号)

#### るい未来を信じて

男性

この度は、ご縁がありましてあなた様方のご 家族の角膜をいただくことになりました。ありがと うございます。

私は息子夫婦と共に日本そば店を営んでおります。私の親の代からの営業で約100年になります。私は仕事上も、車の運転が必要でありますが、趣味が温泉旅行とドライブです。そのため大変不自由を感じておりましたがこの度、角膜をいただくことができて大変感謝しています。この先は、眼が治り明るい未来を信じて頑張ります。あなた様方におかれましてもいつまでもお元気でありますように心からお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。合掌

(アイバンクだより第25号)

#### 常

#### 山からの提供に感謝 60歳代女性

この度は私に貴重な角膜をご提供くださったドナー様及びご家族様に心から感謝致します。本当にありがとうございました。今年5月に突然左眼の角膜に穴が開き、至急移植手術が必要となりご提供いただきました。主治医の先生から、富山の方からきれいな角膜を提供された旨を伺った時は不思議なご縁を感じました。富山は亡き父の出身地でもあり、私自身も子供の頃よりとても親しみを感じておりました。二度の手術がありましたが、視力も徐々に回復してまいりました。いただいた角膜を大切にこれからの人生を歩んでまいります。一緒にいろいろな物を見てまいりたいと思います。改めて、角膜のドナー様とご家族様に心より御礼申し上げます。また執刀いただいた先生をはじめ皆様方に感謝致します。

(アイバンクだより第25号)

## 前

#### を向いて1日1日を

60歳代女性

春光うららかな季節を迎え、ご家族の皆様にはますますご健勝のことと存じます。ご家族の大切な角膜をいただき、ありがとうございました。視界が霞み周りが良く見えなくなってから、転ばぬように下を向くことが増えていました。そんなときに、角膜移植ができるとの連絡をいただきました。移植後に元の生活を取り戻せるか不安もありましたが、手術後の開けた視界は鮮烈で今も鮮明に蘇ります。おかげさまで、引退を考えていた仕事にも復帰できております。人生に光と夢をいただき、前を向いて1日1日を楽しく生活できております。本当にありがとうございました。

春爛漫の折、どうぞお健やかにお過ごしくだ さい。

(アイバンクだより第25号)

### 第

#### 二の人生の始まり

10歳男の子

ぼくは生まれつき右眼に角膜デルモイドという ものがついていました。

ですが、ドナーのおかげで10才で手術できました。それに手術は無事成功しました。

角膜を提供してくれた方、そしてその家族の 方にも感謝しています。

これからも目を大切にして生きていきます。改めて角膜を提供してくださり、誠にありがとうございました。

Ħ

この度は角膜を提供していただき、ありがとう ございました。

見た目を気にしていた本人でしたが、手術が終わり目が覚めて、退院して、家に帰って来て自分の顔を鏡で見て、第二の人生の始まりと言っていました。その言葉を聞いた時に私は本当に

手術を行って良かったと思いました。ドナー様に は本当に感謝しています。心からありがとうござ いました。(父)

(アイバンクだより第27号)

### 提

#### 供者との縁に感謝して 40歳代男性

この度は角膜を提供して頂き、誠にありがとう ございました。ドナー登録をされていたご本人は もとより、同意して頂けた御遺族に心より感謝い たします。いや、感謝という言葉だけでは到底表 現しきれません。私は昨年の2月より病気で右眼 の視力を失い、角膜移植手術しか残された手段 がございませんでした。私の仕事は特殊な職種 の為、普通の仕事より眼を酷使することが多く、 失明している状況が長引けば解雇の可能性もあ りました。息子達にはまだまだ教育費がかかり、私 自身の年齢、眼のハンデを考えると再就職も難し く途方にくれていました。そんな折、角膜提供の お話を頂いたのです。待ちに待った角膜提供の 話、しかしながら胸中は複雑でした。なぜなら角 膜提供イコール提供者の方が亡くなったという事 実があるからです。本当に自分なんかで良いの だろうか、大切な御家族の身体の一部を見ず知 らずの人間に提供することを御家族は納得され ているのだろうか、手術の返事を一旦保留し真 剣に考えました。しかし、ドナー登録をされた故人 の遺志、そして提供者に選ばれた私との縁、これ ら全てを感謝し受け入れようと思い、手術に踏み 切りました。ドナーの方のおかげで私も人生の再 出発ができたのです。

私の右眼で見る景色はドナーの方の目で見る 景色です。これからの残りの人生はドナーの方と 共に生きていき、与えられたチャンスを故人の分ま で生きていきます。本当にありがとうございました。

(アイバンクだより第26号)

開眼者の手記

#### *謝という言葉以外ない* 50歳代女性

この度は、角膜提供に心より感謝いたしてお ります。私は、20代前半、突発性角膜帯状上皮 剥離という病気になり、30代、40代、角膜移植を 繰り返し多少の視力を保ちながらも日々の生活 を送っております。(両眼)角膜移植を通じて、多 くの方々の話を聞いたりしますが、「感謝」という 言葉以外ありません。そして、手術、サポートをし て頂く先生方も同様です。角膜提供されたご家 族との『ご縁』を大切にして、明るい希望を持って 生かして行きたいと思っています。現在、全世界 で、新型コロナウイルスにより、悲しく、そして耐え 難い日が続いておりますが、くれぐれも皆様のご 健康を心よりお祈り申し上げ、ご自愛されるよう お伝えください。本当にありがとうございました。

(アイバンクだより第27号)

#### と希望が生まれました

この度は幸運にも大切な命の一部を賜り、失 明状態の左目の闇に光と希望が生まれました。

私は車椅子の生活です。私に貴重な角膜は もったいないと逡巡しましたが、生きている間二 つの目で物が見える喜びをと思い受け入れを決 意しました。家族は妻と長男長女四人です。一 同、ドナーの愛のご厚情に深く感謝しております。 わが家でもドナーへの愛の認識と役割を深く感 じました。末筆ですが、ドナーご家族さまのご多 幸をお祈りしつつお礼の言葉とさせて頂きます。

(『三百字の遺言 ||』)

#### 業品 としてなんとかしたい

幼児女性

この度は、角膜をご提供頂き誠にありがとうご ざいました。私共の娘は先天性のデルモイドと 診断されてから、幼少から大学病院で受診する 日々でした。幼児になり保育園に行くようになると 周りの子供と自分の目の形が異なることに気づ きはじめ、親としてもなんとかしてあげたいと思う 日々が続いていました。先生とも相談しながらな んとか小学生になるまでにはと、親としては、身 勝手な考えと思われるかもしれませんが、手術 ができるようにと願いながら生活しておりました。 その思いがようやく届いたのか、2020年7月に 手術予定になり家族で喜んでいましたが、新型 コロナウイルスの影響で中止になり、娘と、もう しょうがないけど、いつになるかわからないねと 落ち込んでいました。しかし、急遽角膜の提供 があり、同年9月に手術ができることになり、手術 後も順調で、娘も目を見ては感謝とともに視野が 正常によく見えることにとても喜んでいる毎日で す。最後になりましたが、ご家族がお亡くなりに なるという状況の中、角膜提供にご賛同頂いた ご遺族の皆様にはただただ感謝の言葉しか見 つかりません。大変な悲しみのなかでの決断を 賜り厚く御礼申し上げます。主治医の先生、看 護師の皆様、また富山県アイバンクの皆様、本 当にお世話になりありがとうございました。本人 がまだ書けないため、母親が気持ちを代筆させ て頂きました。

(アイバンクだより第26号)



## 富山県アイバンクの歩み



平成3年	12月 富山県知事の設立許可 12月 理事長に家城潔就任、常務理事に高岸和男・大黒 幸雄就任	1998年 平成10年	<ul><li>4月 日本財団補助金授与式(角膜移植用強角膜片撮影装置機器等の整備)</li><li>4月 富山県善意銀行合同法要に出席</li><li>6月 広報誌富山県アイバンクだより第5号発行</li></ul>	2003年 平成15年	入江コーディネーターが合格		4月 院内コーディネーター委嘱状交付式 6月 献眼者へ厚生労働大臣感謝状伝達式 8月 第7回日本組織移植学会学術集会において一般 演題発表
1992年 平成4年	4月 厚生省(現 厚生労働省)へ眼球あっせん業について 申請 6月 厚生省より眼球あっせん業許可	1999年	7月 献眼者へ厚生大臣感謝状伝達式 11月 KNBラジオ「ビタミンワイド」にて啓発活動 2月 国内初の脳死下臓器提供・角膜提供		<ul><li>3月 富山県アイバンク情報発行開始</li><li>5月 献眼者へ厚生労働大臣感謝状伝達式</li><li>5月 広報誌富山県アイバンクだより第9号発行</li></ul>		9月 広報誌富山県アイバンクだより第14号発行 12月 LCIF一般援助金交付医療機器(DSAEK)贈呈式、 富山大学眼科へ機器設置
1993年	   <b>9月</b> 北日本放送·FMとやま等で啓発普及CM実施	平成11年		2004年	<b>2月</b> アイバンクサポーター講習会開催	2009年	   <b>2月</b> 第33回角膜カンファランスにおいて学術展示発表
	10月 富山テレビ「スーパータイム530」にてアイバンクの現況を放映		3月 北日本放送「もつともつと富山アイバンクは今」番 組放映	平成16年	2月 県より業務及び財産の状況に関する検査の実施 4月 献眼者へ厚生労働大臣感謝状伝達式	平成21年	
	11月 北日本新聞に啓蒙活動広告を掲載		4月 富山県善意銀行献眼献体合同法要に出席		8月 広報誌富山県アイバンクだより第10号発行		8月 県より業務及び財産の状況に関する検査の実施
	12月 献眼者へ厚生大臣感謝状伝達式		6月「Eye Bank Journal」に大黒常務理事が寄稿		10月 アイバンクチャリティーなぎさ会民謡の祭典(富山		10月 県より公益財団法人への移行の認定を受ける
			7月 登録カードを旧免許証サイズからカード型に変更		南LC主催)		11月 公益財団法人への移行登記
1994年			することが決定		12月 登録者10,000人に対し登録継続意思確認調査を		11月 広報誌富山県アイバンクだより第15号発行
平成6年			8月 献眼者へ厚生大臣感謝状伝達式		実施	22425	
	10月 KNBラジオにて献眼者の遺族、移植を受けた方、		8月 広報誌富山県アイバンクだより第6号発行	2005年		2010年 平成22年	
	理事長の三者インタビューを放送 		10月 アイバンクチャリティー長岡すみ子民謡ショー(富 山LC主催)	平成17年	<b>2月</b> アイバンクチーフサポーター講習会出席 <b>3月</b> [Eye Bank Journal]に大黒副理事長が寄稿	1 M/LLT	親族優先提供が可能となる 3月 副理事長に宮岸武就任、常務理事に森弘就任
1995年	   <b>2月</b>   献眼者へ厚生大臣感謝状伝達式		10月 日本眼科紀要第50巻第10号にて論文掲載		4月 個人情報の保護に関する法律の施行(平成15年)		4月 院内コーディネーター委嘱状交付式
平成7年			11月 第2回献眼運動富山県民大会開催		により、登録パンフレットに目隠しシールを付属		6月 平成22年度寄付金付き年賀はがき助成金を、献
	7月 献眼者へ厚生大臣感謝状伝達式		12月 [Eye Bank Journal]に寄稿		5月 献眼者へ厚生労働大臣感謝状伝達式		眼登録推進及び登録普及啓発用チラシ等作成の
	8月 広報誌富山県アイバンクだより第2号発行		12月 同号地域版に富山県アイバンクの紹介が掲載。		8月 広報誌富山県アイバンクだより第11号発行		ためのカラー複合機導入事業として受領
	10月 KNBラジオ「情報ナビゲーター」にて献眼登録普		井村理事長・大黒常務理事が寄稿		9月「Eye Bank Journal 創立40周年記念号」に大黒		7月 臓器の移植に関する法律改正により、本人が臓器
	及啓発				副理事長・入江コーディネーターが寄稿		を提供する意思がないことを表明していなければ、
	10月 第1回献眼運動富山県民大会開催	2000年	1月 「眼球のあっせんに関する技術指針について」(厚		9月 第5回アイバンクチーフサポーター講習会参加		遺族が臓器提供に書面にて承諾した場合、提供が
		平成12年	生省保健医療局通知)により、技術的行為につい		10月 第9回JATCO研究会にて発表		可能に。これにより、15歳未満の方からの脳死下
	2月 献眼者へ厚生大臣感謝状伝達式		て一定の基準が設けられる		_		での臓器提供も可能に
平成8年			2月 第24回角膜カンファランスにおいて学術展示発表	2006年 平成18年	3月 第6回アイバンクチーフサポーター講習会出席		10月  献眼者へ厚生労働大臣感謝状伝達式
	4月 広報誌富山県アイバンクだより第3号発行		4月 フェルヴェール開店1周年記念「ペギー葉山リサイ	十八八〇十	4月 院内コーディネーター委嘱状交付式		<b>12月</b>   広報誌富山県アイバンクだより第16号発行  
	7月 献眼者へ厚生大臣感謝状伝達式		タル1後援		5月 献眼者へ厚生労働大臣感謝状伝達式	2011年	   <b>1月</b> アイバンク啓発用立て看板「アーチ君」作成
	11月 広報誌富山県アイバンクだより第4号発行		5月 ライオンズクラブのLCIF交付金による医療機器   贈呈式、富山大学に機器設置		6月 第19回日本脳死・脳蘇生学会にて一般口演発表 9月 広報誌富山県アイバンクだより第12号発行	平成23年	
1997年	   <b>2月</b> 眼球の強角膜片保存方法導入の報告		12月 アイバンクチャリティー加賀山昭・歌千代民謡の		<b>11月</b> JATCO研究会にて発表		8月 平成23年度献眼登録フォローアップ事業を実施
平成9年			タベ(富山南LC主催)		12月 第7回アイバンクチーフサポーター講習会に野村		10月 岡本武勇理事が臓器移植対策推進功労者厚生労
	3月 ラジオたかおかの番組にて理事長・事務局が啓		12月 副理事長に高田眞が就任、常務理事に岡本武勇		常務理事が出席		動大臣感謝状を拝受
			が就任				10月 献眼者へ厚生労働大臣感謝状伝達式
	4月 アイバンク支援藤巻篤子チャリティーコンサート		<b>12月</b> 第2回アイバンクワークショップセミナーにて講演		4月 院内コーディネーター委嘱状交付式		11月 広報誌富山県アイバンクだより第17号発行
	(後援)		12月 広報誌富山県アイバンクだより第7号発行	平成19年	4月 赤い羽根共同募金会助成金交付式		
	7月『三百字の遺言』刊行				<b>5月</b> FMとやまラジオにて啓発活動(6月11日から15		<b>2月</b> 角膜カンファランス2012において、ポスター展示
	7月 献眼者へ厚生大臣感謝状伝達式	2001年 平成13年	2月 公的病院を対象にアイバンクに関するアンケート		日まで放送)	平成24年	701
	8月 チューリップテレビ・北日本放送にて啓発活動	十八八五十	門豆と人心		6月 広報誌富山県アイバンクだより第13号発行		<b>4月</b> 平成24年度寄付金付き年賀はがき助成金決定通
	10月 臓器の移植に関する法律施行、角膜及び腎臓に		4月 献眼者へ厚生労働大臣感謝状伝達式		6月 KNBラジオにて啓発活動		知書交付式
	関する法律廃止。本人が書面にて提供意思表示を していれば脳死提供が可能に。厚生省より角膜移		5月 富山眼科集談会において発表   8月 広報誌富山県アイバンクだより第8号発行		6月 ラジオたかおかにて啓発活動 6月 設立15周年記念大会開催		5月 赤い羽根共同募金会助成金決定書交付式   6月 富山県において日本初6歳未満の脳死下臓器提供
	植におけるドナーの適応基準についての通知が		<b>した</b> 仏報応毎川朱介介バンクによりおりろ先行		10月 高田眞理事長が北日本新聞文化功労賞受賞		7月 井村元理事長、今泉賞受賞
	あり、ドナーからの採血を行うこととなる	2002年	   <b>1月</b>   強膜あっせん業の認可を受ける		10月 いきいきとやま健康と長寿の祭典にて啓発活動		8月 富山福祉短大看護学科においてエンゼルメイク講義
	10月 富山テレビにて理事長が啓発活動	平成14年			11月 第57回富山眼科集談会にて発表		8月 広報誌富山県アイバンクだより第18号発行
	11月 KNBラジオ「ビタミンワイド」にて啓発活動		3月 ラジオたかおかにて啓発活動				9月 阪神化成工業株式会社設立40周年記念イベント
	11月 強角膜片作成とドナーからの採血講習会実施		4月 設立10周年記念大会開催		2月 第32回角膜カンファランスにおいて学術展示発		及び富山県アイバンク設立20周年記念プレイベ
	11月 富山法人会チャリティーコンサート		12月 「Eye Bank Journal」に高田副理事長の紹介が掲載	平成20年	表、入江コーディネーターが眞鍋賞を受賞		ント・ミュージカル「本能寺が燃える」にて啓発活
			12月 理事長に高田眞就任、副理事長に本村哲明と大黒		3月 アイバンクチャリティー加賀山昭の会(富山南LC主催)		動·募金活動実施
24							29
-							_`

9月 設立20周年記念式典ならびに記念講演

平成24年 10月 献眼者ご遺族へ厚生労働大臣感謝状伝達式

2013年 平成25年

2月 富山市立呉羽中学校学習活動「夢に向かつてス テップ・ワン! 『13歳の学び』」にて講義実施

9月 第8回ふくおか健康づくりとボランティアの集い にて登録パンフレットの配布

9月 ライオンズクラブ国際協会334-D地区2リジョン 3ゾーンガバナー公式訪問にて講演

9月 広報誌富山県アイバンクだより第19号発行

10月 献眼者ご遺族へ厚生労働大臣感謝状伝達式

平成26年

2014年 2月 角膜カンファランス2014に参加し、コメディカル プログラム第1部[アイバンクごとのドナー比較 (年齢、性別、内皮細胞数等) にて発表

> 2月 富山市立呉羽中学校学習活動「夢に向かつてス テップ・ワン! 『13歳の学び』」にて講義実施

2月 富山市二口町長寿会にて講演

4月 セミナー[アイバンクの発展におけるベストプラ クティストに参加

6月 富山眼科集談会にてミニ発表

8月 金沢医科大学氷見市民病院第3回夏休み親子ふ れあい医療フェスティバルにて登録活動実施

10月 献眼者ご遺族へ厚生労働大臣感謝状伝達式

11月 広報誌富山県アイバンクだより第20号発行

平成27年

2015年 2月 啓発用冊子『三百字の遺言 献眼へのメッセージ Ⅱ』発行

8月 第14回日本組織移植眼科医学術集会にて発表

10月 献眼者ご遺族へ厚生労働大臣感謝状伝達式

#### 平成27年

2015年 | 11月 「日本アイバンク協会認定サポーター講習会」並 びに「献眼登録確認フォローアップ事業研修会」 を開催

12月 広報誌富山県アイバンクだより第21号発行

#### 2016年 平成28年

2月 富山市立呉羽中学校学習活動「夢に向かつてス テップ・ワン! 『13歳の学び』」にて講義実施

2月 広報誌富山県アイバンクだより第22号を発行

2月 角膜カンファランス2016参加

3月 富山医療福祉専門学校においてアイバンク講義

4月 富山県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交 付式に出席

9月 日本アイバンク協会の献眼登録確認フォローアッ プ委託事業実施

10月 献眼者ご遺族へ厚生労働大臣感謝状伝達式

11月 第一イン新湊「献眼登録の集い」会場にて講演

2017年 平成29年

6月 富山県宅建協会女性部例会にて講演会開催

7月 東海北陸地区アイバンク広域活動連絡会および 全国アイバンク連絡協議会に出席

10月 広報誌富山県アイバンクだより第23号発行

10月 設立25周年記念大会開催

11月 第77回富山眼科集談会にて発表

11月 いきいきとやま・第30回健康と長寿の祭典にて 献眼啓発活動

#### 富山県アイバンク 設立25周年記念大会



2017年/平成29年 10月 大黒理事長挨拶



記念式典壇上



厚生労働大臣感謝状伝達·授与



記念講演 講師板東英二氏

## 2018 (平成30年) ~2022 (令和4年)

#### 献眼の意思を尊重する体制整備を継続

富山県アイバンクでは、設立以来献眼登録活動をはじめ、

献眼の意思を生かせる体制整備として、

フォローアップ事業の実施や院内コーディネーターとの連携を図り、提供の意思を尊重できる 体制整備に力を入れてきました。その結果、ここ数年献眼数が増加しています。

#### 平成30年

- 3月 東海北陸地区アイバンク広域活動連絡会に出席
- 3月 とやま健康・福祉・介護フェアー2018にて献眼啓
- 4月 富山県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式
- 7月 東海北陸地区アイバンク広域活動連絡会および 全国アイバンク連絡協議会に出席
- 8月 全国アイバンク連絡協議会に出席
- 10月 いきいきとやま・第31回健康と長寿の祭典にて 献眼啓発活動
- 10月 厚生労働大臣感謝状伝達·授与式
- 11月 第31回全国健康福祉祭とやま大会・ねんりんピッ ク富山2018に出展
- 11月 広報誌富山県アイバンクだより24号発行

#### 2019年 平成31年 (令和1年)

- 4月 富山臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式
- 7月 東海北陸地区アイバンク広域活動連絡会および 全国アイバンク連絡協議会に出席
- 10月 厚生労働大臣感謝状伝達・授与式

- |10月 いきいきとやま・第32回健康と長寿の祭典にて 献眼啓発活動
- 11月 広報誌富山県アイバンクだより25号発行

#### 2020年 令和2年

- 2月 第65回東海北陸地区連絡協議会に出席
- 6月 全国的に新型コロナウイルス感染が拡大し、富山 県では感染症対策警戒レベル「ステージ1」を発 表。理事会、評議員会、評議員選定委員会が中止 となり、書面表決となる
- 11月 広報誌富山県アイバンクだより26号発行

- 2021年 4月 院内移植コーディネーター委嘱状交付式
  - 7月 富山眼科集会において発表
  - 11月 広報誌富山県アイバンクだより27号発行
  - 11月 富山眼科集会にオンライン参加

- 2022年 4月 院内移植コーディネーター委嘱状交付式
- **令和4年|6月** 富山眼科集会においてオンライン参加にて発表



2018年/平成30年 3月 東海北陸地区アイバンク広域活動連絡会



とやま健康・福祉・介護フェアー2018



2018年/平成30年8月 全国アイバンク連絡協議会



2018年/平成30年 10月 いきいきとやま・第31回健康と長寿の祭典



2018年/平成30年 10月 厚生労働大臣感謝状伝達:授与式



2018年/平成30年 11月 第31回全国健康福祉祭 とやま大会・ねんりんピック



2019年/平成31年 4月 富山臓器移植院内 コーディネーター委嘱状交付式



2019年/令和1年 10月 厚生労働大臣感謝状伝達 授与式



2019年/令和1年 10月 いきいきとやま・ 第32回健康と長寿の祭典

#### 献眼へのメッセージ

黒部ライオンズクラブ 三井適夫

ライオンズ精神の根底には奉仕 がある。何となく、漠然と、奉仕をと らえていた私は数年前に、真の奉 仕を分かりやすく言い当てている 言葉に出会った。

「お返しを期待しない、感謝の

言葉も求めない、それが本当の奉仕です」

瀬戸内寂聴さんのこのメッセージは心に響いた。ヘレン ケラー女史が「ライオンズよ、闇を切り開く盲人の騎士とな れ」と世界のライオンズメンバーに訴え始まった献眼活動に はその神髄がある。

生きているうちにそれを成すことは難しい。しかし、人生 の最後に献眼を約束することは真の奉仕活動の実現であ る。愛する妻よ、君の気持ちは嬉しいが私の最後の我儘を 叶えてはくれないか。献眼をよろしく頼む。

(『三百字の遺言 II』)

勇気を出して

藤塚由紀子

平成25年の春、アイバンクの理 事である金井澄子先生から、アイ バンクに協力するようにとのお話 がありました。「死後、角膜を提供 すること」くらいしか知識のない私 がお役に立てるだろうかと不安で

したが、理事会で何度かお話を伺っているうちに、献眼者 が増えることの大切さが理解できてきました。

理事になって1年半過ぎた今、私は勇気を出して実母の 命日に「献眼登録申込書」をアイバンクに送りました。家族 や妹弟にも私の遺言として意思を伝え理解を得ています。 そして、先日、アイバンクカードが自宅に届きました。

しかし、地域内で話題提供をしてもあまり関心がないの が現状です。

今後は、広く県民の方々にいろんな機会を通じて普及啓 発していくことの必要性を感じています。

(『三百字の遺言 ||』)

#### ピンクの 意思表示

富山セントラル ライオンズクラブ 川岸広幸

地元富山の北日本放送が全国 13番目にラジオで開局した1952年 に生まれた虚弱体質の私の好き な色は、永らく、凛々しさを表す 紺・ブルー系であった。むしろ、派 手な赤や紅色を避けてきた人生

であった気がする。

一昨年、曲がりなりにも還暦を迎えることになった私は、 同期の友人2人とお世話になった方々をお迎えして、"だん ご三兄弟:新たな旅立ちの会"を催したが、その席上、子供 からプレゼントされたベストが桜色のピンクであった。以来、 愛用する社用車もピンク色のダイハツタント、携帯電話も、 デジカメも…。

感情を静め、心の動きを安定させ、優しさを表現するピン ク色は、現在の私のトレードマーク色であり、献眼登録の推 進活動の更なる拡張を目指す私の意思表示色にもなって いる。

(『三百字の遺言 II』)

高岡中央 ライオンズクラブ 多田慎一

中学の頃から近視めがねをか け始め、乱視、遠近両用と70歳に なった今日まで、不自由を感じなが らも相当数のめがねを買い求めた。 平成14年10月に家内の理解を 得てライオンズクラブ経由の献腎、

献眼登録をした。しかしその3年後ゴルフプレー中、左眼が 急に見えない症状になり、真生会富山病院眼科の先生に よる黄斑膜の水分分泌除去、加えて右眼白内障手術のお 蔭で不具合がありますが、日常の生活に差し支えることなく 公私共に忙しく立ち働かせて頂いております。献眼が可能 か否か確認はしておりませんが、光の有難さは身をもって 感じ、人には強く言えます。現在携わっています各種関係 団体や多くの人達に「ウィサーブ」の精神でお役に立ちた いと思います。

(『三百字の遺言 II』)



生かして戴いたお礼

私は少しの病は持っておりますが、普段の私生活には支障はありません。今までに仕事も私生活でも健康で大過なく過ごせた事に感謝致しております。

アイバンクの情報で眼の不自由

な方がいると聞いて献眼登録しております。周りが見えない人生は私にはありませんでした。周りの見える人生を送って戴きたい一助なればとの思いで、終わりに周りが見えない方の役立つことができれば幸いです。

「あの男も人生の終わりに、社会に一つお返しをしていったな」でありたい。

(『三百字の遺言Ⅱ』)

私の意思 <sup>富山昭和</sup> ライオンズクラブ 高田順一 今年8月、自分の不注意で階段 に躓き転倒し脇腹を強打した。診 断の結果、肋骨が2か所骨折して いた。咳払いやくしゃみをすると強 烈な痛みに襲われ、ベッドの寝起 きができなくなった。車のドアーの

開け閉めにも不自由した。それまで気に留めることなく行っていたことに細心の注意を払わなければならなくなった。

もし何かの事故で視力を失ったとしたら、こんな次元の 話ではないことはよく理解できる。

幸い私は両眼とも視力1・2とよく見える。キャディさんに 代わってゴルフボールの行方を追うことができると自負して いる。私がこれまで十分に使った両眼を私の死後活用して いただけるのならこれに勝る幸せはない。家族に私の意思 をしっかり伝えておきたい。

(『三百字の遺言 II』)

良心を 忘れた社会を 高岡古城 ライオンズクラブ 伊勢豊彦 収賄、贈賄で賑わう政・官・財界の面々、バブルで踊った左前銀行の安易な後始末、命を喰い物にした医薬業界、孫・子に負わせる国家の借金、職業の良心を忘れた今の世間を嘆いてはみたものの、お

前は何をしてきたか、と問われると返事ができない。

私が角膜提供できる日はいつかわからないが、せめて良 心が通用する社会になっていてほしい。物が見えるのと一 緒に、温かさも見える世間になってほしい。せめて私が死 ぬまで、今よりも心が温まる社会にしなくちゃ。そして、良い 社会を感じてもらえる中で角膜を使ってほしい。 愛・ アイバンク

富山雷鳥ライオンズクラブ森 弘

小学5年生の眼の検診の時、 県立南部高校(現在の富山高校)前にあった磯野眼科医院の 磯野先生(女医さんで多分ご高齢だったと記憶する)に「綺麗な 眼をしていますね」と褒められた

後、自慢の眼も40歳半ばまで維持していた裸眼視力 1.5から70歳を過ぎた先日の運転免許更新時検査で0.7 までに衰えてしまった。

聞くところによれば100歳を過ぎても健康な眼を持ち、 ご逝去の際に献眼をされた方もおられるとか…。

私も健康な眼を持ち続け、最後にささやかな愛の奉仕 として献眼をすることを家族に伝えている。

(『三百字の遺言 ||』)

「同じ光の中」 にいたい

<sup>富山南</sup> ライオンズクラブ 山**﨑義明**  先日、テレビでドラマを見ていました。目の不自由な女性と編集者の男性とがふとした日常で出会い、魅かれながら、別れていくストーリーでした。

「こんな出会いがあるわけね

え。」と思いながら、ドラマですから願望満載の大人の恋 という設定で面白く見ていました。

その中で主人公とヒロインが二人で駅のベンチに座り、 主人公が目を閉じて「僕らは同じ闇の中にいた」と独白 する場面があります。ドラマなので同じ闇の中にいてもい いのですが、家族や親しい人ならば「同じ光の中」にい たいと思うのではないでしょうか。

私の死後、献眼を通して、誰かが光を取り戻すことでその周りの多くの人が同じ光の中で暮らせるよう希望します。 (『三百字の遺言 ||』)

もっと知り、 理解を

富山県商工会青年部 連合会副会長 中瀬淳哉

『三百字の遺言』の発行の主 旨を拝見させて頂きました。そこ には献眼に対する想い、喜び、 希望、願い、様々な事を感じまし た。私はこの活動を理解しておら ず、献眼という言葉でさえ理解し

ていません。身内に目の不自由な者でもいなければなかなか考えることの無いことです。しかし、今回お話を聞かせて頂きいろんな感情が湧きました。簡単には出来ないことかもしれませんが私ももっと知り、理解したうえで考えたいと思いました。

なんとなく 登録したけど

富山神通 ライオンズクラブ 今村知代 私はライオンズクラブに入会した際にアイバンクの活動を知り、なんとなく登録した者です。当初なんら思い入れもなく、しかし財布の中にはいつもドナーカードが鎮座しており、財布を使うたびに

「そうだ、私ドナーになったんだ」とボーっとした感覚が脳内にあったのを覚えています。

それから後、角膜損傷で治療中の友人と会っていた 時でした。「調子どう?」、友人「わからない」と元気に返答 するも不安な気持ちは隠しきれない様子。しかし慰める ことしか出来ない自分を残念に思っていた気持ちはそこ にはありませんでした。

「あっドナーになるってこういう事か…。」

自分も役に立てる"ちょっと誇らしげな気持ち"にかわっていた自分に気づきました。

(『三百字の遺言 II』)

献眼についてのメッセージ

<sup>親田町ライオンズクラブ</sup>
水野由花里

私達は目が見えて当たり前、目が見えなくなるなんて考えたこともないという人がほとんどで、私もその一人だ。

しかし、世の中には病気ある いは事故などで突然視力を失い

角膜の提供を待っている人が大勢いる。けれども、そのようなことも知らず、ましてや「献眼登録」がある事も知らない人もしかりだ。

もっとたくさんの人達に知ってもらう為に、イベントなどを積極的に利用して献眼登録の理解や登録希望に繋げていけばいいのではないか。「献体は…でも献眼なら…。」と、いう人が必ずいると思う。私は、ライオンズクラブに入会し、「アイバンク運動」を身近に知り、奉仕と感謝の気持ちとともに、「献眼登録」を前向きに考えるようになった。家族や友人にも「献眼登録」を推進していきたいと思っている。

(『三百字の遺言 ||』)

遺言のこと

高岡伏木 ライオンズクラブ 大黒幸雄 突如死が私を襲ったら、(まだまだ懸命に働かなくてはいけない使命感?本当は未だ若いのだと信じていたからなんだか)もがいてもがいて死にたくないと叫んでいたのですから、せめて生きの

よい人に眼をあげて下さい。若い女性がよいですね。

今だから言うんだが、惚れっぽい私にはアレヤコレヤと あったんだよなあ。そりゃ彼女の一挙手一投足に悩ませ られることもあったが、あの眼の表情にどれだけ悩んだも のやら。(未亡人になったオマエに言っておくが、今更ヤ キモチは止めにしようや。もはや処置なしやないか)

あの眼になりたい。あの眼になって、世の男性諸君を 悩ませてやる。私が苦しんだ10分の1?ほどの苦しみを与 えてザマァミロと言ってやるんだ。どうも品格が疑われそう な言葉になったが、死んじゃったんだから仕様がないじゃ ないか。

もし悠々自適して、残りの人生を楽しく暮らす状況であったなら、これはまた在り方をかえることとしよう。若い男性に上げて下さい。

この眼は、相当苦労してきたのだから、チョット位の美女の流し目にはびくともしない……筈だ。苦しみも後には楽しみとなり、その逆も又ありの男女の関係を充分に味わい見たいのだ。本当はイバれる程にモテた訳じゃないのだから(悔しいがヤキモチ焼かれる資格なしか)今生で報われなかった青春を、もう一度若い人の中から眺めたい。情けないがこちらのほうが本音だな。

以上書き残すによって、充分の配慮をお願い致します。 あなた達も過去をふり返って未来への遺産の在り方を考 えて下さい。

(『三百字の遺言Ⅰ』)

献血から 献眼へ

富山みなと ライオンズクラブ 畠山志郎 昭和38年大学1年生の時、教室に乗り込んで来た体育会系の強面の面々に連れ出され、並んだ先に採血車があった。列から抜け出す勇気もなく順番が来た。終わってみると初めて人の役に

立つ事が出来たと、気分は高揚し献血への不安も消えた。当時輸血の98%は売血に頼り、売血で生計を立てる者まで現れ社会問題化、高校生、大学生を中心に売(買)血追放運動が始まっていた。ならば、全身の血液を献血しようと回数を重ねる内に、自分の内部に奉仕への心が育っていた。

十数年後ライオンズクラブの例会で、臓器提供やアイバンクカードが配布された時には、進んで登録する自分が居た。私の身体の一部が、他人の中で再度活躍するとは、愉快なことだ。

(『三百字の遺言 II』)

(『三百字の遺言 |』)

(『三百字の遺言 ||』)



# ノーを詠んだ短歌

筏井 晴夫 選

部屋ぬちに タベの光 および来ぬ

**柔びらのごと** 吾子は眠りて 上皇后美智子さま

ひめ皇子の誕生をお詠みになった御歌。

春の苑 紅 にはる 下照る道に 出で立つ娘子 桃の花

我が園の 李の花か 庭に降る

はだれのいまだ 残りたるかも

大伴家持

の移ろいは、華やかな桃の花と、消え残った雪のように散 日。春の夕べの明るさから、暮れ方へと暗くなってゆく光 る李の花びらとによそえられて詠まれているのです。 て在任した折に詠んだ歌です。日は天平勝宝二年三月一 万葉集巻一九に所収の二首。家持が越中の国の国司とし

# 秋分の 日の電車にて 床にさす

光とともに 運ばれてゆく

佐藤佐太郎

独自な見方に心地よい驚きを覚えます。 作者は結社「歩道」を主宰。明治四二年生、昭和六二年没。

ちる花は 数限りなし 光をひきて 谷にゆく ことごとく

作者は医師にして短歌、小説を創作。大正一二年生、平成

上田三四二

元年没。想起される光景はまことに豪奢です。

日は落ちて 残りの空に 光はみちぬ 無常なる 燠となるまで

福永武彦

大正七年生、昭和五四年没。祈祷という言葉が思い浮か 作者は小説家。余技の短歌を集めた本『夢百首』より。

# ひさかたの 光りのどけき 春の日に

づこころなく 柔の散るらん

# 紀友則

ら晩年までこの歌を愛唱し、いろんな著作に登場させていま す。廻船問屋であった生家の栄華をしのばせる歌でした。 まれています。高岡市伏木出身の作家、堀田善衞は青年期か 作者は平安時代前期の歌人。この歌は百人一首によって親し

# 道のべの 蛍ばかりを しるべにて

# ひとりぞ虫づる 夕闇の空

寂然法師

# む作者の心に静かに染み入ったことでしょう。孤独はすが い濃い夕闇に蛍が光を放っているのです。その光は一人歩 作者は平安時代末期の官人、歌人。現代とは比ぶべくもな すがしいものでもあると知らされます。

# 朝日さす 拳のつづきは まだ霜深し めぐめども 谷のかげ草

崇徳院

# であり、貴人ながら数奇の宿命を負い流罪となって讃岐で 保元の乱を起し平安時代末期の争乱の嚆矢となった上皇 え、影にあるものはまだ霜に耐えているというのです。 生涯を終えられました。日のさす方の木立や草木は芽生

# 5 ろとさくら散るゆえ 河面より

# さたる光に 身を沈めいる

高松光代

明治四二年生、平成一八年没。桜の花が浮かんでいる河面の光 作者は京都市綾部に生まれ、新湊に長く居住しました。 りに誘われてふっと入水してしまう、そんな怖さを感じます。

# 獄中の 適路といへど おとうとの

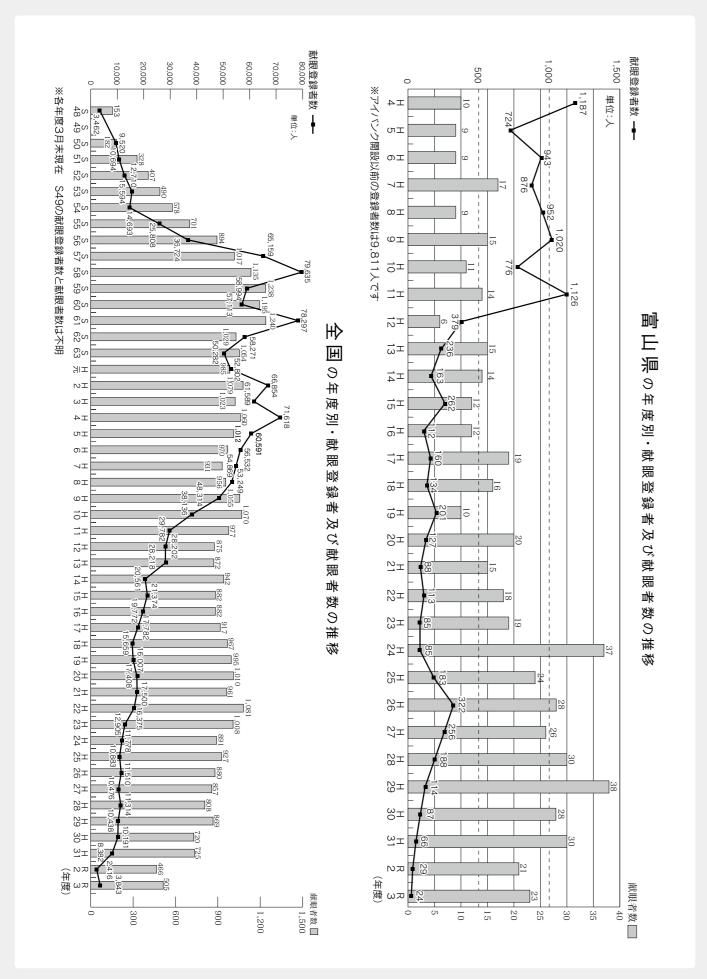
畳に秋の **ひかりおよべり** 

辺見じゅん

生まれ、東京で活動されました。思いがけなく罪を得た肉 作家、歌人。昭和一四年生、平成二三年没。富山県水橋町で 親への静かなエールです。

# 我が面は 光りに向きて 近づきて息子は ねるらしま シャッタ を押す

けてポ・ 平成二二年、宮中歌会始の詠進歌の中の一首です。目の難 病で光を失われた母上が、子息の声のする方向に顔を向 ーズをとるほのぼのとした情景が浮かびます。



アイバンク名	₹	所 在 地	TEL
(公財)日本アイバンク協会	101-0054	東京都千代田区神田錦町3-2 三基ビル4F	03-3293-6616
(一財)北海道アイバンク	060-8543	札幌市中央区南一条西16 札幌医科大学附属病院眼科内	011-611-2111
NPO旭川医大アイバンク	070-0035	旭川市5条通13丁目右2号	0166-74-5255
(公財)弘前大学アイバンク	036-8563	弘前市本町53 弘前大学医学部附属病院内	0172-39-5095
岩手医大眼球銀行	028-3695	紫波郡矢巾町医大通2-1-1	019-613-7111
(公財)東北大学アイバンク	980-8574	仙台市青葉区星陵町1-1 東北大学医学部眼科学教室内	022-728-3677
(公財)あきた移植医療協会		秋田市千秋久保田町6-6 秋田県総合保健センター5F	018-832-9555
(公財) 山形県アイバンク	990-9585	山形市飯田西2-2-2 山形大学医学部附属病院内	023-628-5963
		福島市杉妻町2-16 福島県保健福祉部地域医療課内	
(公財)福島県臓器移植推進財団	960-8670		024-521-9027
(公財)茨城県アイバンク	310-0852	水戸市笠原町489 茨城県メディカルセンター本館内	029-306-9390
(公財)栃木県アイバンク	320-0063	宇都宮市陽西町1-37 護国会館内	028-624-1010
(公財)群馬県アイバンク	371-0026	前橋市大手町3-9-16	027-237-5008
(公財)埼玉県腎・アイバンク協会	330-0062	さいたま市浦和区仲町3-5-1 県民健康センター内3F	048-832-3300
(公財)千葉県アイバンク協会	260-8677	千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学医学部附属病院内	043-222-6803
角膜センター・アイバンク 	272-8513	市川市菅野5-11-13 東京歯科大学市川総合病院内	047-324-1010
順天堂アイバンク	113-8431	文京区本郷3-1-3 順天堂大学医学部内	03-3813-3111
(一財) 視覚健康財団	160-8582	新宿区信濃町35 慶應義塾大学病院 2号館地下1階	03-3226-8033
(福)読売光と愛の事業団眼球銀行	100-8055	千代田区大手町1-7-1 読売新聞東京本社内	03-3217-3473
杏林アイバンク	181-8611	三鷹市新川6-20-2 杏林大学医学部附属病院内	0422-47-5511
(公財)かながわ健康財団 アイバンク・臓器移植推進本部	231-0037	横浜市中区富士見町3-1 神奈川県総合医療会館5F	045-242-3961
(公財)山梨県アイバンク	409-3898	中央市下河東1110 山梨大学医学部内	055-273-6776
(公財)長野県アイバンク・臓器移植推進協会	380-0928	長野市若里7-1-5 長野市医師会館内	026-226-1516
(公財)新潟県臓器移植推進財団	950-8570	新潟市中央区新光町4-1 新潟県福祉保健部健康づくり支援課内	025-283-4880
(公財)富山県アイバンク	930-0194	富山市杉谷2630 富山大学医学部内	076-434-5710
(公財)石川県アイバンク	920-8641	金沢市宝町13-1 金沢大学眼科学教室内	076-265-2405
(公財)福井県アイバンク	918-8237	福井市和田東2-1912 大橋ビル203号	0776-23-1315
(公財)岐阜県ジン・アイバンク協会	501-1194	岐阜市柳戸1-1 岐阜大学医学部附属病院内	058-215-6302
(公財)静岡県アイバンク	431-3192	浜松市東区半田山1-20-1 浜松医科大学医学部附属病院内	053-433-3331
(公財)愛知県アイバンク協会	460-0008	名古屋市中区栄4-15-23 ライオンズマンション久屋公園219	052-263-0832
(公財)三重県角膜・腎臓バンク協会	514-8570	津市広明町13 三重県医療保健部医療政策課内	059-224-2333
(公財)滋賀県健康づくり財団 腎・アイバンクセンター	520-0834	大津市御殿浜6-28	077-536-5210
京都府立医大アイバンク	602-8566	京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465	075-251-5127
(公財)体質研究会アイバンク	606-0805	京都市左京区下鴨森本町15番地 生産開発科学研究所4F	075-702-0824
(公財)大阪アイバンク	565-0871	吹田市山田丘2-2 大阪大学医学部銀杏会館内	06-6875-0115
(一財)奈良県アイバンク	634-8522	橿原市四条町840 奈良県立医科大学附属病院眼科内	0744-22-3051
(公財)わかやま移植医療推進協会	640-8268	和歌山市広道20 第3田中ビル603	073-424-7130
(公財)兵庫アイバンク	650-0017	神戸市中央区楠町7-5-2 神戸大学医学部附属病院内	078-382-6046
(公財)鳥取県臓器・アイバンク		米子市西町36-1 鳥取大学医学部内	0859-34-4809
(公財)ヘルスサイエンスセンター島根(しまねまごころバンク)	683-8504 693-0021	出雲市塩冶町223-7	0853-22-2556
(公財) 岡山県アイバンク		山岳市場内面223-7  岡山市北区大元駅前3-57	086-223-6622
(公財) 砂スしまドナーバンク	700-0923		
	734-8551	広島市南区霞1-2-3 広仁会館内	082-256-3523
(公財)やまぐち移植医療推進財団	753-8501	山口市滝町1-1 山口県健康福祉部医療政策課内	083-932-0743
(公財)徳島アイバンク	770-8503	徳島市蔵本町3-18-15 徳島大学医学部眼科学分野内	088-633-7163
(公財)香川アイバンク	760-0017	高松市番町1-10-35 香川県社会福祉総合センター内	087-861-4618
(公財)愛媛アイバンク	790-8585	松山市三番町4-5-3 愛媛県医師会館内	089-913-7786
NPO高知アイバンク	780-0870	高知市本町3-6-10	088-823-2035
福岡県メディカルセンターアイバンク	812-0016	福岡市博多区博多駅南2-9-30 福岡県メディカルセンター内	092-471-8599
久留米大学アイバンク	830-0011	久留米市旭町67 久留米大学医学部眼科学教室内	0942-35-3311
(公財)佐賀県アイバンク協会	849-8501	佐賀市鍋島5-1-1 佐賀大学医学部眼科内	0952-31-6511
(公財)長崎アイバンク	852-8501	長崎市坂本1-7-1 長崎大学病院眼科学教室内	095-819-7517
(公財)熊本県移植医療推進財団	862-8570	熊本市中央区水前寺6丁目18番1号 熊本県健康福祉部健康局薬務衛生課内	080-8373-3345
(公財)大分県アイバンク協会	879-5593	由布市挾間町医大ヶ丘1-1 大分大学医学部眼科学講座内	097-549-1411
(公財)宮崎県アイバンク協会	880-0023	宮崎市和知川原1-101 宮崎県医師会館内	0985-22-5180
(公財)鹿児島県移植医療アイバンク推進協会	892-0838	鹿児島市新屋敷町16番408-B-2号	099-295-6420
(公財)沖縄県アイバンク協会	901-2112	浦添市沢岻2-23-1 4F	098-917-1170

#### 公益財団法人富山県アイバンク設立30周年記念大会組織図

名誉大会顧問

大会長

新田 八朗 富山県知事

大黒 幸雄 富山県アイバンク理事長

大会顧問

副大会長

中川 忠昭 富山県議会議員・富山県アイバンク相談役 渡辺 守人 富山県議会議員・富山県アイバンク相談役

高田 順一 富山県アイバンク名誉顧問

新田 正昭 富山県眼科医会会長

有賀 玲子 富山県厚生部長・富山県アイバンク理事

伊勢 豊彦 富山県アイバンク前副理事長

野村 謹吉 富山県アイバンク前常務理事

筏井 晴夫 富山県アイバンク理事 兼 広報委員長

大会実行委員長

大会副実行委員長

磯野 敏雄 富山県アイバンク副理事長

木村 正明 富山県アイバンク常務理事

大会事務局長

大会副事務局長

牧 亨 富山県アイバンク副理事長

森 弘 富山県アイバンク常務理事

総務委員会

委員長 石村 正男 高平 伸 柴 雅棋 山森 峰克 原野 博明 関勝 副委員長 藤井 泰三 道井 秀樹 堀川 秀樹 北林 和正 後井 哲治 長原 好成

大会委員会

委員長 高田 重信 窪田 一誠 五百﨑 平 前佛 栄一 荒谷 謙治 真田 宏一

副委員長 宮本 眞弓 五十嵐 務 小松 千秋 髙縁 勲 今井 司

大会記念事業委員会

委員長 筏井 晴夫 黒田 康二 由井 崇 八嶋祐太郎 若井 聡志 副委員長 畠山 志郎 渡邊 一三 藤田 淳一 片山 和行 中井 盛博

式典・会場委員会

委員長 門前 昌志 竹中 勝治 熊野 清 辻井 益雄 嶋田 仁司 表寺 剛将 副委員長 中尾 順一 高瀬 清春 菅野 寛二 毛利 克彦 砂子阪和夫

献眼及び献眼登録啓発事業委員会

委員長 苗加康孝 久保 健三 杉村 憲一 入坂 文一 水越 正之 林 真孝 副委員長 太田 秀夫 河本 隆 岡本 葉子 若森 征雄 橋本 隆一 笊畑 孝生

接待委員会

救護委員会

委員長 藤塚由紀子 根尾まり子 柏原 京子 委員長 笠島學 藤巻 篤子

副委員長 中田 眞法 今井 節子 副委員長 林 篤志 アイバンク事務局

#### 賛助会費・ご寄附のお願い

アイバンクは、病気やケガによる角膜疾患により 目が不自由な方のために、献眼者の募集や 移植希望者の募集等といった事業を行っています。 ひとりでも多くの方に光のプレゼントができるように努力をしております。 これらの活動は、皆様から寄せられた 賛助会費・寄附金・募金等のご厚志に支えられています。 アイバンクが一人でも多くの方に光を届けられるよう、 皆様のあたたかいご支援をおまちしております。

寄附金および賛助会費は、法人、個人を問わず法規に基づき、所定の手続きにより 寄附金控除または寄附金税額控除の対象となります。

- 寄附金・募金につきましては、振込用紙にてお振込みください。
- 賛助会費につきましては、口座引落しになりますので、事務局までご連絡ください。

#### 賛 助 会 費

個人年会員 ......1口 3,000円 法人年会員 ...... 1口 10,000円

お問合せ先 公益財団法人 富山県アイバンク 電 話:076-434-5710

> (受付時間/平日9:00~17:00) E-mail:info@toyama-eyebank.com

#### 編集後記

「富山県アイバンク」は平成3年に設立され今年で30周年を迎えることになりました。この間に推進母体となった富山県内の各ライオンズクラブをはじめ、各種団体や県民の皆様の温かいご理解とご協力に感謝申し上げます。また平成21年11月には県ご当局のご支援のもと公益財団法人に移行することができましたことは、この事業に携わる者として無上の慶びでありました。

今回はこの記念誌に「光」に縁のある短歌を、富山県歌人連盟理事の畠山満喜子 さんに無理を承知で依頼し、古典から現代にいたるまで幅広く選んでいただきました。 唐突なお願いを快くお引き受け下さり厚くお礼申し上げます。

献眼という貴い行為が県民の皆様のなかに広がり、誰もが「光」を取り戻せる時期が早く来ることを期待し、アイバンク事業の啓発につながれば望外の喜びです。

終わりに貴重な原稿をいただきました各位に深謝申し上げます。

大会記念事業委員会 委員長 筏井晴夫

## au 県 アイバンク 30 周年記念誌 30 年のあゆみ

発行日 令和4年10月15日

編集・発行 公益財団法人 富山県アイバンク

富山市杉谷2630 富山大学医学部内

TEL 076-434-5710

発 行 人 大黒幸雄

制 作 株式会社 スターゲイト新川

印 刷 株式会社 すがの印刷